

令和6年度障がい者雇用優良事業所等表彰 受賞者概要

【敬称略】

1 宮崎県知事表彰

(1) 障がい者雇用優良事業所

○株式会社綾・野菜加工館（綾町）

【業種：飲食料品製造業（冷凍野菜加工製造）】

【従業員：66人（令和6年6月1日現在）】

当法人は平成18年に創業し、ほうれん草や小松菜、ごぼう等の冷凍野菜を製造している。「名水百選」に選ばれたきれいな水を豊富に使って農産物を栽培・加工しており、安心安全で高品質な製品を全国の食卓に届けている。

障がい者雇用については、令和6年6月1日現在、知的障がい者10名（うち重度障がい者1名）を雇用しており、障がい者支援施設からの実習受入れをきっかけに、平成20年度から本格的に障がい者雇用に取り組んだ結果、現在では全従業員の1割以上が障がい者となっている。

野菜加工の一連の工程の中で、個人の能力や障がい特性が活かせるよう配置を工夫したり、野菜の選別作業において規格外となる野菜の形や色などの特徴を、障がい者にもわかりやすく写真やイラストを用いて資料にし、目につきやすいところに掲示するなど、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。

障がい者の実雇用率は16.67%と非常に高く、障がい者雇用の推進に大きく貢献している。

○有限会社マルオカ（都城市）

【業種：飲食料品小売業（惣菜（生餃子）販売）】

【従業員：85人（令和6年6月1日現在）】

当法人は、昭和21年に「丸岡食肉店」として創業し、平成10年に「有限会社ぎょうざの丸岡」の販売部門として設立された。現在は、県内外の16店舗やネットショップにおいて、生餃子等の販売を行っている。

障がい者雇用については、令和6年6月1日現在、身体障がい者3名、知的障がい者2名（うち重度知的障がい者1名）の計5名を雇用している。

それぞれの障がい特性や体力に合わせ、身体障がい者は各店舗の接客・販売部門に配置し、知的障がい者はユニホームのクリーニング部門に配置するなど、障がい者が働きやすい環境を整備している。

また、宮崎障害者職業センター等の関係機関とも連携し、積極的に実習を受け入れるほか、障がい者をサポートする担当者を配置するなど、雇用や職場定着に向けた支援体制を整備している。

障がい者の実雇用率は8.54%と非常に高く、障がい者雇用の推進に大きく貢献している。

(2) 優秀勤労障がい者

○長尾 久代 (ながお ひさよ)

勤務先：社会福祉法人浩和会白浜学園(日向市)

勤続：13年2ヶ月(令和6年6月1日現在)

勤務先の社会福祉法人浩和会白浜学園は、平成2年に日向市に設立された障がい者支援施設であり、当該法人は障害者就業・生活支援センターやグループホーム、相談支援事業所等の事業を運営している。

当該受賞者は、令和6年6月1日現在で、勤続年数は13年2ヶ月に至っており、平成28年に心臓の大きな手術を受け、知的障がいに加えて内部障がいを併せ持つことになったものの、それ以後も、欠勤することなく勤務を継続している。

施設の介助員として洗濯業務に従事しており、洗濯・乾燥の業務は、洗剤・柔軟剤の量の調整や、生地が傷まないよう素材や種類に分けて機械にかけるなど、細やかな配慮が必要であるが、真面目で丁寧な働きぶりに、同僚も感心している。

穏やかで優しい人柄であり、仕事中はいつも笑顔で利用者や職員とも明るくコミュニケーションをとっているなど、職場での癒やしの存在となっている。

○日吉 幸太 (ひよし こうた)

勤務先：社会医療法人泉和会千代田病院(日向市)

勤続：15年2ヶ月(令和6年6月1日現在)

勤務先の社会医療法人泉和会千代田病院は、昭和35年に日向市に設立された総合病院であり、日向入郷医療圏における救急告示病院・災害拠点病院としての役割を担っている。

当該受賞者は、令和6年6月1日現で、勤続年数は15年2ヶ月に至っている。入職当初は、理学療法士として主にリハビリ業務に従事していたが、進行性の疾患に伴う身体機能の低下によって理学療法士としての業務が困難になったため、現在は知識や経験を生かし、リハビリテーション技術部の事務に従事している。

リハビリ室における各職員の訓練時間のスケジュール管理や地域包括ケア病棟の単位数の計算等の業務を担当しており、真面目で几帳面な仕事ぶりから職場では中心的な存在で、同僚からの信頼も厚い。

身体機能が少しずつ低下していく中で、どのように利用者や組織に貢献できるか常に考え、実践しており、その姿勢は周囲の模範となっている。

○合原 正一（ごうばる しょういち）

勤務先：社会福祉法人敬愛会特別養護老人ホームきりしまの園（小林市）

勤続：25年（令和6年6月1日現在）

勤務先の社会福祉法人敬愛会特別養護老人ホームきりしまの園は、昭和61年に小林市野尻町に設立された特別養護老人ホームであり、当該法人は短期入所、デイサービス、グループホーム等の事業を運営している。

当該受賞者は、令和6年6月1日現在で、勤続年数は25年に至っており、入社以来、継続してフルタイム勤務を続けている。

施設内の清掃業務や洗濯業務に従事しており、長期間の勤務により、日々の体調の変化に合わせて仕事のペースや業務量を調整することで、自身で体調管理ができるようになっていく。

人が嫌がるような作業でも手抜きせず一生懸命取り組んでおり、その仕事ぶりから社内表彰を受けるなど、利用者や職員からの信頼を得ている。

同僚にも自ら率先してコミュニケーションをとっており、報告・連絡・相談をしっかりと行っているため、適切な業務の進捗管理につながっている。

○吉原 博久（よしはら ひろひさ）

勤務先：株式会社イチマル水産（門川町）

勤続：26年2ヶ月（令和6年6月1日現在）

勤務先の株式会社イチマル水産は、昭和2年に「川端商店」として創業し、煮干し製造や鮮魚販売を経て、現在は冷凍魚肉練製品、顆粒状調味料、かつお節微粉末等の製造販売を行っている。

当該受賞者は、令和6年6月1日現在で、勤続年数は26年2ヶ月に至っており、雨の日でも休むことなく毎日自転車で30分かけて通勤し、入社以来フルタイム勤務を続けている。

製造部で主に練製品のカットや袋詰め等の業務に従事しており、根気のいる長時間の立ち作業であるが、彼が一生懸命に作業する姿勢が同僚のモチベーション維持にもつながっているなど、周囲へよい影響を与えている。

また、入社後に教わったお辞儀をしながらの挨拶を現在でも続けており、その姿は社員の模範となっている。

親しみやすく誰からも愛される存在であり、会社の大切な戦力として活躍している。